

都市再生整備計画 事後評価シート
佐世保市役所周辺地区

平成23年3月

長崎県佐世保市

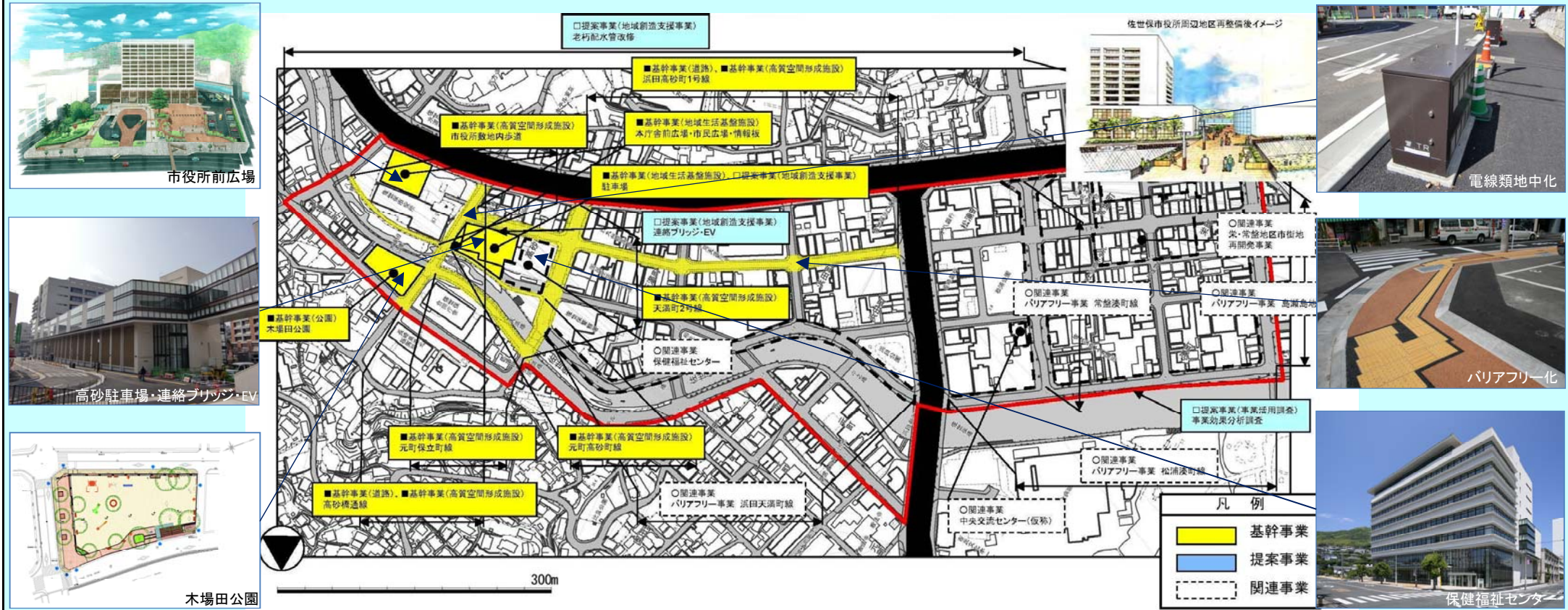
様式2 - 1 評価結果のまとめ

都道府県名	長崎県		市町村名	佐世保市		地区名	佐世保市役所周辺地区			面積	24 ha
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	974百万円	国費率	0.381		
1) 事業の実施状況	事業名										
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路：浜田高砂町1号線・高砂橋通線の電線類地中化 公園：木場田公園の整備 地域生活基盤施設：広場、駐車場、情報板の整備 高質空間形成施設：浜田高砂町1号線ほか8線のカラ 舗装、照明施設の整備								
		提案事業	地域創造支援事業：保健所・駐車場解体、連絡ブリッジ・EVの整備、老朽配水管改修								
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路：元町保立町線の電線類地中化			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業	なし			-			来街市民の満足度に関係するが、数値目標は据え置く		
	新たに追加した事業	基幹事業	なし			-			-		
提案事業		事業効果分析調査			事業の成果等を検証した事後評価を策定し、今後のまちづくりに活かすため、事業を追加する			事後評価を策定するための分析事業であるため、影響ないと考えられ、目標も据え置く			
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-				
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	指標1	来街市民の満足度	%	19.6	H17	35.0	H22	85.7	あり なし	歩道のバリアフリー化や歩行者専用道路の整備によって歩車分離を図るなど、地区内の課題解決への取組みにより、歩道の歩きやすさが改善された。また保健福祉センターの整備により、保健・福祉・医療に対してのサービスが向上したことが、来街市民の満足度の向上につながった。	平成23年8月1日
	指標2	当地区の歩行者数	人/日	1,437	H17	2,000	H22	1,757	あり なし	国道の横断歩道や歩行者専用道路の整備により、他地区からのアクセスが改善されたことで回遊性が向上し、地区内の歩行者数が増加した。また、保健福祉センターを整備し、保健、福祉、医療の機能を市役所周辺に集約させることで利便性が向上し歩行者数の増加につながった。	平成23年11月1日
	指標3	路上駐車車両台数	台	35	H17	0	H22	0	あり なし	既存の駐車場を集約し駐車可能台数を80台増加させたこと、駐車場から市役所・保健福祉センターをつなぐブリッジを整備し施設間のアクセス改善を図り、駐車回転率の改善に努めたことが、路上駐車車両の削減につながった。さらには、安価な休日料金により、休日の駐車場の利用促進が図られ、路上駐車車両の削減につながった。	平成23年3月
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	数値 モニタリング 評価値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
	その他の数値指標1	来街市民の不満軽減率	%	0	H17			74.5		地区内の課題解決への取組みにより、既存の駐車場待ちによる路上駐車車両が改善されたこと、保健福祉センターを整備したこと、バリアフリー化を図ったことなどが、来街市民の不満軽減率の向上につながった。	平成23年8月1日
4) 定性的な効果発現状況	歩道の修景(カラ 舗装)やバリアフリー化、歩行者専用道路の整備による安全で快適な歩行者空間の形成により、市役所と三ヶ町商店街が今までよりも近くに感じられるようになった。また、保健福祉センターの整備により、保健・福祉・医療関係を市役所周辺に集約させることで、サービスが向上し、子育て世代から高齢者に至る幅広い世代の利便性が高まっている。さらには、佐世保川沿いのオープンスペースや木場田公園などのゆとりと潤いある空間の整備により、景観がよくなったと感じられる。										
5) 実施過程の評価	実施内容										
	モニタリング	なし			実施状況			今後の対応方針等			
	住民参加プロセス	地元住民等を対象とした意見交換会を開催し、都市再生整備計画についての合意形成を図った。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			-			
		地元町内会・子ども会及び小学校PTA役員など主な公園利用者が参加した意見交換会を開催し、地域ニーズにあった公園づくりに努めた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			意見交換会については、必要に応じ実施していく。			
地元町内会・子ども会及び小学校PTA役員など主な公園利用者が参加した意見交換会を開催し、地域ニーズにあった公園づくりに努めた。			都市再生整備計画に記載し、実施できた			木場田公園の管理体制について、地元町内会などの参画による公園維持管理組織の確立などを検討していく。					
持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた			-				
				都市再生整備計画に記載し、実施できなかった			-				

様式2-2 地区の概要

佐世保市役所周辺地区(長崎県佐世保市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: 住む人、訪れる人の多様な交流を育む賑わいとふれあいにあふれた街づくり	来街市民の満足度	19.6 H17	35.0 H22	85.7 H22
目標1: 歩行者と車輦の動線の整理による拠点間の効率的かつ安全性が確保された交通ネットワークを実現し、人々の回遊性から多様な交流を生み出す。	当地区の歩行者数	1,437 H17	2,000 H22	1,757 H22
目標2: オープンスペースの設置によるゆとりと潤いのある空間を創出する。	路上駐車車両台数	35 H17	0 H22	0 H22
目標3: 地域の拠点施設及び拠点空間の充実を図り、中心市街地における賑わいとふれあいの創出を促す。	来街市民の不満軽減率	0 H17	- H22	74.5 H22



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉センターの整備によって、保健・福祉・医療の機能を集約させたことにより、利便性が向上し、子育て世代から高齢者までの幅広い世代の市民が多く訪れることとなった。 地区内の課題解決への取組みを図り、歩車分離による歩行者専用道路の整備、電線類地中化及びバリアフリー化により、快適な歩行空間が形成されたことなど、歩行者が安全に回遊できる環境ができた。 佐世保川沿いの水辺空間の整備や木場田公園、市民広場の整備により、ゆとりある空間が創出できた。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 保健福祉センターなどの拠点施設となる行政施設において、その枠組みの範囲において可能な限りの利活用を図る。 市民参加による道路の清掃活動や植樹活動等のアダプトプログラムの推進。 広場の利活用の推進や公園の維持管理組織結成への機運の醸成。 栄・常盤地区市街地再開発事業や保健福祉センターなどの整備を新たな商機と捉え、沿道のにぎわいを向上させる機運の醸成。 安全で快適な歩行者空間の確保のため、駐車場への右折入庫及び歩道乗り上げ駐車防止を図る。 栄・常盤地区市街地再開発事業による公共交流施設等の整備や商店街の活性化による回遊性の向上を図る。また、公園、歩行者専用道路及び広場などを連携させたイベントなどにより、回遊性の向上を図る。